

11j システム開発事例で学ぶシリーズ～リスクマネジメント～

1. 研修要領

・募集定員	24名
・研修会場	出島交流会館（住所：〒850-0862 長崎市出島町2-11）
・講師	富士通ラーニングメディア（FLM）講師：都築俊勝
・開催月日	2026年10月14日（水）・10月15日（木）
・実施時間・日数	9:30～17:30（7時間/日）・2日間（14時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

2. 対象者

・システム開発プロジェクトにおいてリスクマネジメントを行う方
 ※前提知識として、ITプロジェクト（システム開発、アウトソーシング、ネットワークサービスなど）に参画し、設計から稼働までの作業の経験があること。

3. カリキュラムの概要

システム開発プロジェクトでの事例をベースに、リスクマネジメントの必要性、リスクの特定・評価・対応計画策定、およびリスクコントロールの基本的な知識について学習します。また、ステークホルダーへのリスク喚起を加味した演習を体験することで、より実践的なスキルを学習します。

4. カリキュラムの詳細

2日間（14時間）

	科目	時間	科目の内容
10月14日	リスクマネジメント概論	1.0	1 リスクとは 2 リスクマネジメントの概要 3 リスクマネジメントの必要性 4 リスクマネジメントの考え方 5 リスクマネジメントの歴史と動向
	ITプロジェクトの特徴とリスクマネジメントプロセス	1.5	1 IT業界でのリスクマネジメント 2 リスクマネジメントのプロセス 3 リスクマネジメント計画
	リスクの特定	2.0	1 リスクの特定口 2 リスク特定のポイント 3 リスク特定のツール 【演習】
	リスクの分析および評価と対応計画の策定	2.5	1 リスクの分析および評価 2 リスク対応計画の策定 【演習】
10月15日	リスクの分析および評価と対応計画の策定（続き）	3.0	【演習】（続き）
	リスクの監視コントロール	3.0	1 リスクの監視コントロール 2 リスクデータベースへの蓄積および活用 【演習】
	失敗しないリスクマネジメントを行うために	1.0	1 PMBOK®知識エリアごとのノウハウ集 2 プロジェクトマネージャにとって重要なこと
	計	14.0Hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

システム開発事例で学ぶシリーズ～リスクマネジメント～

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. システム開発プロジェクトにおけるリスクマネジメントの概要と必要性を説明できる。
2. リスクの特定について説明できる。
3. リスクの評価方法および対応計画の策定手順について説明できる。
4. リスクの監視・コントロールについて説明できる。

7. レベル

ITSS:【プロジェクトマネジメント育成】－プロジェクトマネジメント [4]

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名